

2/8

宇仁郷まちづくり協議会 九会地区ふるさと創造会議 下里地区ふるさと創造会議

テーマ

「ふるさと創造会議の現状と課題」



宇仁郷まちづくり協議会

- 9 部会と2 検討委員会でやっている。規制緩和を図りながら新規居住者住宅などへ昨年は4 世帯の方が帰ってこられた、1 ターンリターンが実現してきている。さらに今年は、4 世帯の方が入居される予定である。
- 高齢者の免許更新に対する支援を検討委員会をつくってやっている。
- こども園の設置は、仕方がない部分はあるが、遠方(5~8キロ)になる。送迎には自転車の方もあり、こういった対応も協議会でもやっていかなければならない。
- 役員の高齢化が進み交代要員がない。
- 地域主体型公共交通検討委員会を昨年7月に立ち上げ、市とも相談しながら委員会を開催。アンケートを実施し、1 回目は利用者数の把握で、6 町で78 名の結果。2 回目は行先(行動範囲)の把握で、加西病院や買い物等の結果が出た。これらを委員会で検討したが、既存の公共交通があり、直接乗り入れるのは難しい面があると指摘されている。
- 加西市や地域において、ふるさと創造会議とは何か。
- 区長会とふるさと創造会議の存在を議会は、どのように思っているか。
- 新規居住者住宅区域や地縁者住宅区域の土地の売買価格の問題と上下水道に対する援助があればもっと入居しやすいのではないか。
- 空き家対策での取り壊しの費用の問題も検討してほしい。

九会地区ふるさと創造会議

- これまでは、九会地区の豊かな資源を再認識してもらうため、九会のいいところマップを作成し、さらに名所旧跡探訪という冊子を作成し全戸配布した。また、アンケートを実施し、アドバイザーの協力を得ながら九会まちづくり計画を作成し、組織づくりと方向性を打ち出した。これから進めていく事業について2019 年は、九会の地域交通と農業の活性化を図るとい課題について取り組んでいこうとしている。さらには、豊富な地域資源を活用し、鶉野飛行場跡地の地元としてのPR と保全活動を行っていく。



- これからの問題として地域交通網についてのアンケートを分析し、既存の公共交通の存在との絡みをどうしていくかについて、市も交え議論していく必要がある。
- 自治会組織(区長会)とふるさと創造会議との違いは何か。
- 先進地の状況を参考にしながら市でも議会でもしっかり考えながらやってほしい。

下里地区ふるさと創造会議

- まずは、やれるところからやっている。山部会を立ち上げた。継続できる事業にしたいため、加西市の土産として美術手ぬぐいを作製した。
- すばらしい山があるので、それを活用し、健康づくりも兼ねて登山はどうかということで、まずはこれまで放置されていた山を整備し、登山道を4 ルートを開設した。
- 市外の方が多く来られている。
- 親子で楽しもうということで、ブリザードフラワーやハスの実で工作等、年間3 回のイベントを開催。行事を開催する中でいるんな人と人のふれあい、つながりをつくっていくことを主眼に置いている。
- 会館等の活動拠点がない。
- 区長会との連携と行事や事業のすみわけ。
- 行政の取り組む課題と地域が取り組む課題のすみわけが大切。

